

【SALA】図書館における学習支援と協働に関するアンケート 結果報告書

1. 実施期間

2011年11月18日（金）～11月30日（水）【延長12月5日（月）】

2. 実施方法

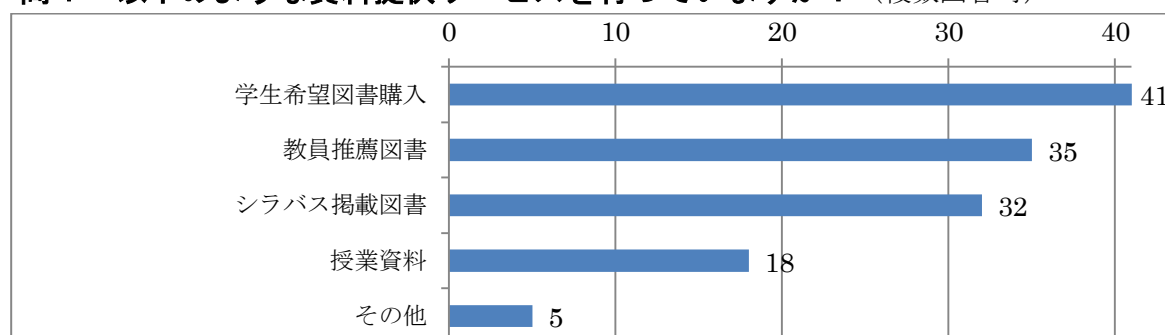
Web上における記名式アンケート

3. 回答状況

加盟機関数	回答機関数	回答率
47館	42館	89.4%

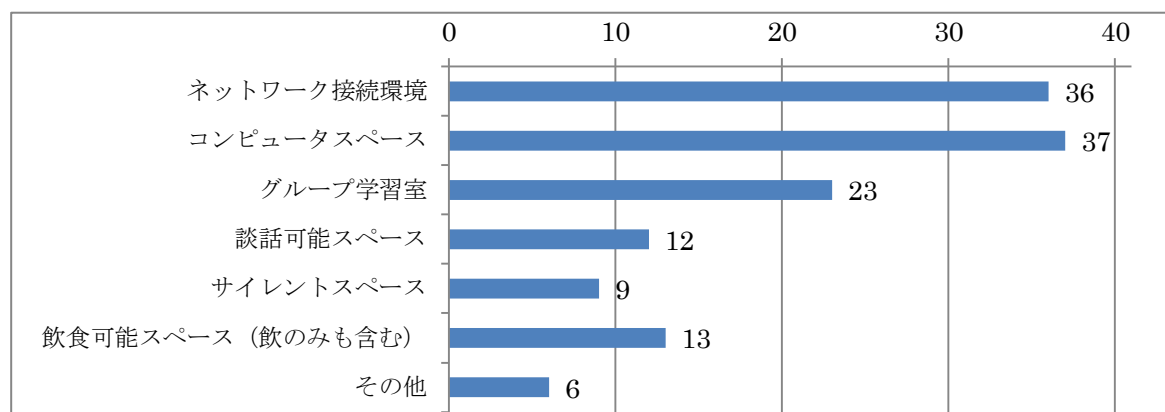
4. 集計結果（集計値：機関数）

問1 以下のような資料提供サービスを行っていますか？（複数回答可）



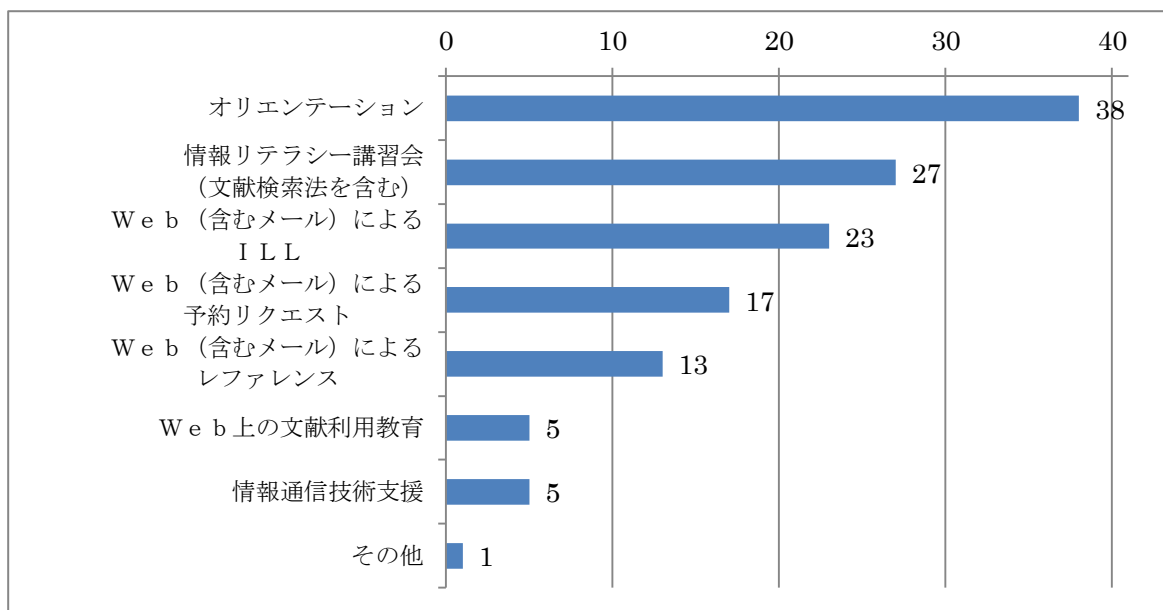
◎その他の記述：①就職支援図書 ②留学生支援図書 ③学士力 ④新刊本の見計らい ⑤専任教員著作図書 ⑥職員希望図書の購入 ⑦シラバス掲載の参考図書のみ

問2 以下のような設備提供はありますか？（複数回答可）



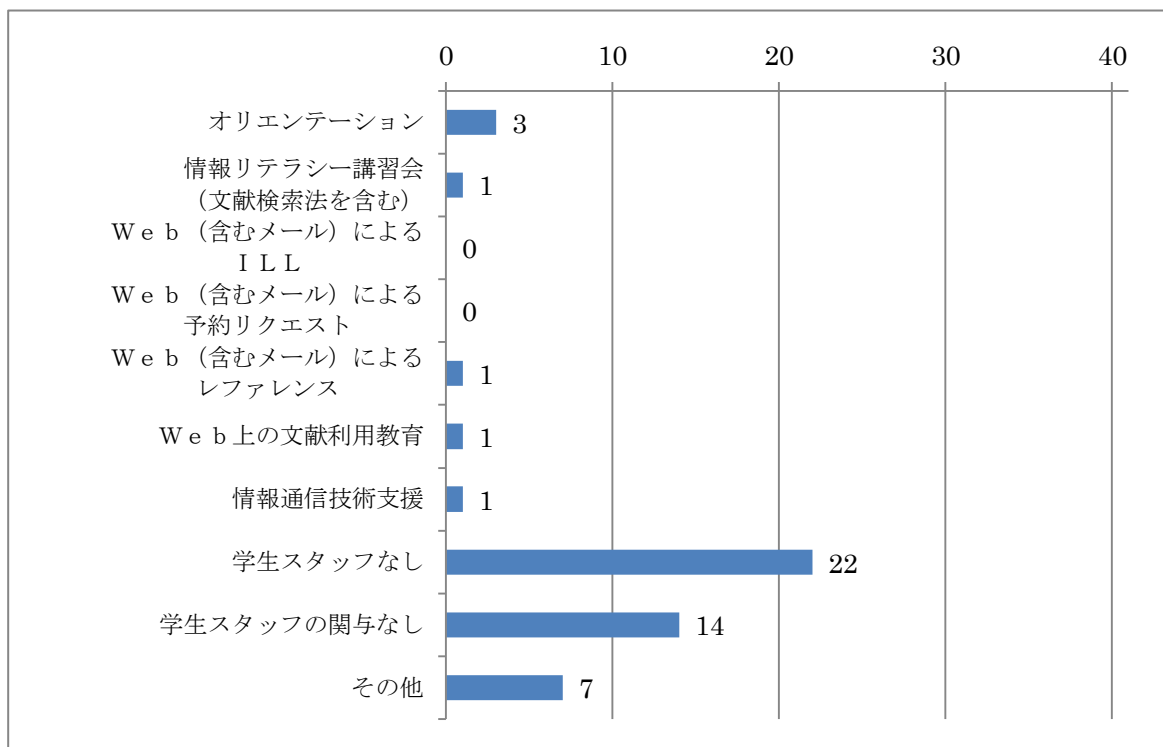
◎その他の記述：①自習室 ②蓋のできる飲み物持ち込み可 ③飲料を飲んでよいスペース（食物は禁） ④図書館全域で、ペットボトルの持ち込みは容認している ⑤ペットボトルなど蓋の閉まる容器に限って閲覧スペースでの飲むことのみ可能

問3 以下のようなサービスはありますか？（複数回答可）



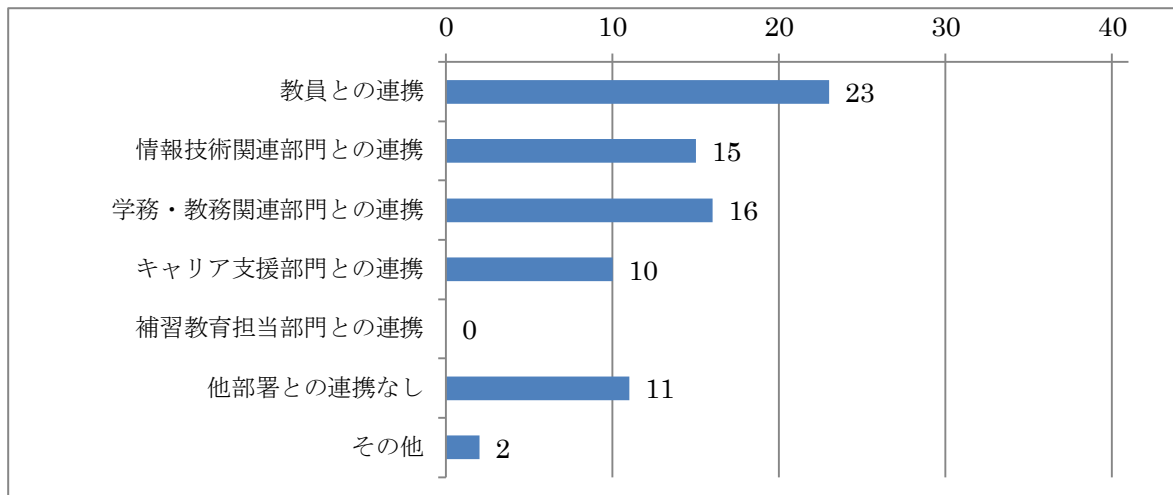
◎その他の記述：①オンラインレファレンスについては、中央図書館で回答している

問4 学生スタッフが関与するサービスはありますか？（複数回答可）



◎その他の記述：①学生スタッフは貸出・返却のみ ②オープンキャンパス時の図書館案内
③カウンターでの利用相談 ④レポート課題等の図書紹介、書き方のアドバイス
⑤学生がいらない ⑥選書 ⑦資料展示 ⑧夜間の貸出返却

問5 図書館サービスのうち、他部署との連携はありますか？（複数回答可）



◎その他の記述：①全ての部署と連携している ②FD 部門との連携

問6 問5で連携があると回答された館は、差し支えない範囲でその内容についての記述をお願いします。

- ①教員とはオリエンテーションや推薦図書のコメント、資料選定など。学務教務部との連携は推薦図書の情報収集などで連携。
- ②授業の中で図書館スタッフがガイダンス。
- ③就職課員による就職支援図書の選書ほか。連携なしでは成り立たない。
- ④Web 履修登録に関する ID・PW の管理は図書館でも行えるようになっている。
- ⑤オリエンテーションや講習会の実施方法や内容についての相談。
- ⑥関係資料の提供。
- ⑦図書館で授業を行うことにより、ライブラリーリテラシーを含め、図書館サービスを教員と共に提供する。
- ⑧新入生を対象にした「図書館ガイダンス」は、教員の引率のもとゼミ毎に実施している。「情報検索ガイダンス」を教員の引率のもと実施している。
- ⑨講義内で資料の探し方や電子資料についてのガイダンスを行っている。
- ⑩教員、教務課と連携してシラバスに掲載された参考文献を購入している。
- ⑪授業別ガイダンス。
- ⑫課題図書の整備。
- ⑬国家試験対策をかねて、専任教員が日曜・祝祭日に図書館を開館して指導に当たる。
- ⑭情報の相互提供。
- ⑮情報技術関連部門とは、学生用パソコンの利用等に関して情報共有している。キャリア支援部門とは、就職支援図書コーナーの設置で、図書選定について意見交換をしている。
- ⑯授業での利用者教育、コンピュータスペースの整備、シラバス掲載図書の情報提供。

⑰「プロゼミ1」では「大学図書館の利用法」を学ぶことが共通内容の一つとなっている。全学共通科目運営センターの依頼を受け、図書館は毎年春学期の4月から6月にかけて約1,000名の学部新生に対して「プロゼミ1」授業時間内に図書館利用オリエンテーションを行なっている。

オリエンテーションは前半と後半に分け、前半では貸出返却・複写等の利用手続き、グループ学習室・AVブース・パソコン室等館内設備利用方法、OPAC検索方法説明、後半では図書館が作成したOPAC課題の実習を行なっている。実習では配布された課題シートの課題(3問)をOPACで検索し資料を配架場所で所在確認するまでの検索→所在確認の過程を学ぶ。

なお、オリエンテーションは2クラスあるいは3クラス合同実施により、1回あたりの最大受講者数が100名近くなることもあるため、課題シートは多めに100シート(300問)を作成している。

※「プロゼミ1」1年生対象授業

⑱教員・・・授業セミナー、指定書、推薦図書。情報技術・・・PCサポート。キャリア支援・・・就職関連セミナー。

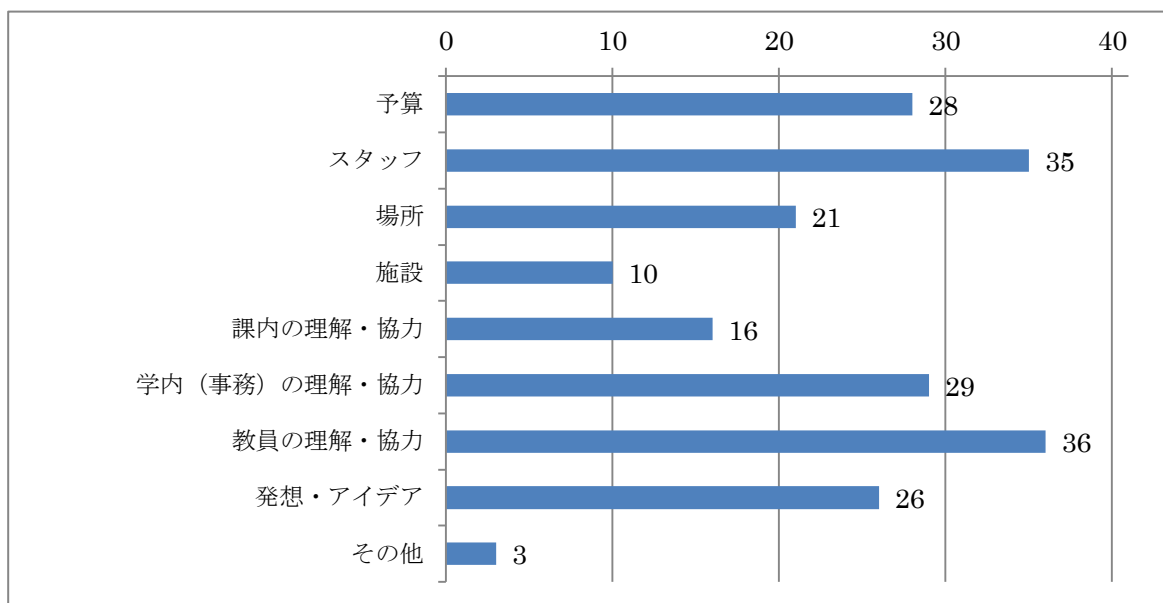
⑲接続教育における図書館ガイダンスのカリキュラム化。

⑳図書推薦、学生情報の提供(督促用)、情報端末の設定・保守等。

㉑新入生用のオリエンテーションを演習単位で実施。

㉒情報機器保守サポート。

問7 図書館が学習支援サービスを行う上で、必要と思うことはなんですか？(複数回答可)



◎その他の記述：①学生のニーズ ②やる気 ③図書館職員の理解と担当者への協力

問8 問7で「施設」と回答された館にうかがいます。必要な施設名の記述をお願いします。

- ①アクティブラーニングに必要な「動」の学習エリア。情報リテラシー教育に必要な館内のPCエリア。
- ②さまざまな学習支援に対応可能な、ライブラリー・コモンズ関連施設や滞在型図書館として必要なセキュリティー設備など。
- ③ラーニングコモンズ。[2 機関]
- ④端末室。
- ⑤PC、プロジェクターのある部屋。
- ⑥既存の施設内に専用ブースを設ける。
- ⑦学習支援室（スペース）。

問9 現在検討中の学習支援サービスがありましたら教えてください。

- ①学生選書、闘病記文庫コーナー設置。
- ②学生スタッフによる学習相談。
- ③音楽療法・キャリア支援に関するサービスの充実。
- ④地元の公共図書館と連携して、学生に図書館での“読み聞かせ”を体験させる。
- ⑤学生サポーターによる学習支援サービス。
- ⑥「ラーニング・コモンズ」の導入・整備。学習支援スタッフの導入。
- ⑦アカデミック・ライティングの初歩。
- ⑧（2年後）ラーニングコモンズの設置、（今年度）学習支援のための資料の集中配架、プロジェクタ・スクリーンの貸出。
- ⑨就職、公務員試験等、キャリア支援関連コーナーの充実。
- ⑩現状では図書館が利用者に対して行なっている利用者支援（オリエンテーション、ガイダンスの類）は、問6回答「プロゼミ1」の初年時（1年生）向けの図書館利用オリエンテーションのみである。このような状況に対し教員からの要望もあり、次年度から一歩進んだ利用者支援として教員の授業内容に照らした文献探索中心のオーダーメイド・オリエンテーションを実施すべく検討している。
11月以降、試験的に2年~4年生を対象とした2つの授業で学内専用契約データベース検索（新聞・雑誌記事、国内データベース）、国立国会図書館利用方法および学外からの文献取寄せについてオリエンテーションを行い、次年度に向けて準備を進めている段階である。
- ⑪授業支援（基礎演習における）。
- ⑫専任教員の定期的レファレンスの実施。

問 10 学習支援サービスで興味のあることやアイデア、知りたいことなどがありましたら教えてください。

- ①学生スタッフの活用。
- ②学生スタッフの募集・業務について。
- ③図書館資料の利用向上への方策を知りたい。
- ④既にラーニング・コモンズを導入済の図書館における現状の良い点と今後の改善点。
- ⑤どのようなことから始めたらよいか。
- ⑥図書館の領分／隣接する部局の領分の望ましい関係（制度を含む）。
- ⑦教員（ファカルティ）の理解・支援を得る方策。
- ⑧学生スタッフと協同して行なう学習支援サービスについて興味があります。
- ⑨Web によるレファレンスの受付、回答について。
 - (ア) 寄せられたレファレンスに対する回答作成体制（個人、チーム）
 - (イ) 回答作成後の図書館決裁過程
 - (ウ) 回答を Web（HP）に掲載する場合の図書館、大学の決裁過程
- ⑩スタッフが少ない中での講習会開催のコツ。
- ⑪ライティングサポート、TA等の活用（広く学生共働）。
- ⑫知りたいこと：授業内（教員に依頼されて講義の一コマを利用しての教育）ではなく、図書館主体のガイダンスを行う場合、時間はいつに設定していますか？ 講義時間帯の場合、参加者が少ないと思いますが、どのような対策を取っていますか？ 講義時間終了後の場合は（残業などで）職員の負担が大きくなりますが、どのような対策をとっていますか？

問 11 記述の回答についてうかがいます。記述されたコメントは資料およびWeb 公開をしてもよろしいでしょうか。※ただし、個別大学名は記載いたしません。

資料およびWebでの公開	
可とする	不可とする
38 館 (90.5%)	4 館 (9.5%)

☆☆☆ご協力ありがとうございました。☆☆☆